



# 宮永岳彦記念美術館だより

2026 6 月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2  
TEL / FAX 0463-78-9100

## 常設展示室



### 宮永岳彦 粹 意 気 息

2026.6.13 SAT ▶ 12.6 SUN



展示作品より今月の一点



《『講談倶楽部』昭和37年3月号》



この作品は雑誌の表紙画として描かれました。グリーン背景が女性の白い肌を引き立てていて、鳥のモチーフは抒情的な物語性を感じさせ、想像をかき立てる一枚になっています。

帽子のエメラルドグリーンは宮永が好んだ色

でした。「私はあらゆるものの主体色にエメラルドを使っていた。何となくモダンであり、派手なところがあり、理知的、そしてセンチメンタルなものがある。」と語っていたとおり、柔らかな微笑みを浮かべる女性は爽やかで洗練された雰囲気、見る人の目を引き、印象に残ります。

宮永の表紙画の制作は1948年、『週刊朝日』から始まりました。『講談倶楽部』(のちの『小説現代』)は1911年に創刊された大衆文学雑誌で、宮永は60年代に多くの表紙を描きました。斬新なデザインに、優れた描写力と色使いで描かれた作品は、戦後の荒廃した中から、ようやく立ち直り、美に飢えていた当時の人々に、潤いと楽しみを与えたことでしょう。

1962年 原画

観覧料 ・一般 300円(弘法の里湯利用者は100円引き)  
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料  
開館時間 ・午前10時から午後7時(入館は午後6時30分まで)

6月の休館日 : 1日(月) 8日(月)~12日(金) 15日(月) 22日(月) 29日(月)

## 市民ギャラリーのご案内

入場無料

### 7月の市民ギャラリー展覧会の予定

千田肇(絵画・造形展)

7月22日(水)~7月28日(火)

※ 市民ギャラリーの予約はインターネットで行うようになりました。  
※ 予約には事前に利用者登録が必要です。詳しくはHPをご覧ください。

### モンローのような女

作品の女性は、俳優の真理明美(1941~2017)をモデルにしたものです。宮永は「モンローのような女」(原作 船橋聖一)の挿絵を担当したことから、同映画の撮影現場を訪れた際に、ひと目で「真理を描いてみたい」と制作意欲にかられたといひます。

また、希代の俳優、マリリン・モンローの死去(1962年)から2年後に制作された「モンローのような女」は、モンローへのオマージュともいえるのではないのでしょうか。世界を魅了した彼女の麗しさは、宮永の心をも捉えたのかもしれませんが。

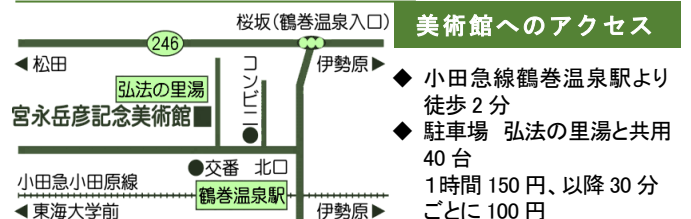


### 宮永岳彦の思い出

戦争から帰ってきた宮永は実家のある秦野にアトリエを構え、トレードマークのベレー帽に大きなスケッチブックの入った赤皮の手提げカバンというモダンないでたちで、銀座の職場まで片道2時間かけて小田急線で通勤していました。



大秦野(現・秦野)駅にて1949年頃



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641